

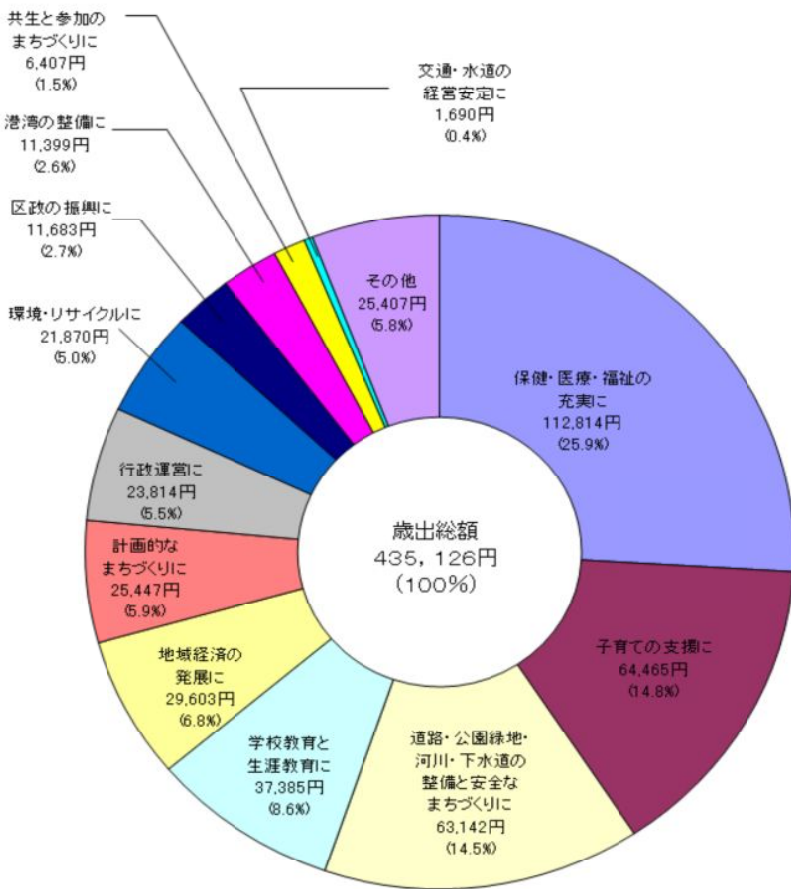
# 宮前ガバナンス

## 石田やすひろ・川崎市政報告



### 平成23年度 川崎市一般会計予算

### 市民1人あたりの予算の使いみち(一般会計)



川崎市議会第一回定例会(予算議会)がスタートしました。平成23年度一般会計予算は、6180億円が計上されました。前年に比べて1%増で、過去最大となっています。

予算の特徴は、子育て支援のための子ども費の増や、生活保護扶助費などによる健康福祉費の増がみられます。

市債の発行は、765億円となつていきます。市債現在高(累積額)は8832億円となり、市民一人当たりになると62万1794円となります。

これから大切なことは、市債発行の抑制を図り、効果的で効果的な財政運営を行いながら、持続可能で安定的な財政基盤をつくっていくかなくはなりません。

### 石田やすひろプロフィール

川崎市立犬蔵中学校卒業、明治大学大学院(公共政策修士)修了、国会議員の秘書を経て、28歳の若さで初当選。現在3期目。議会では、健康福祉委員長、市民委員長を歴任し、子育て支援策の強化や区役所機能の強化を推進する。その他、政策を議会で提案し多数実現をしている。議会発言後は、必ず駅頭や広報紙を作成しその内容を積極的に市政報告を実施。

### 石田康博事務所

〒216-0035  
住所 川崎市宮前区馬絹531-2

TEL 044-861-6870  
FAX 044-854-0798

@ishidayasuhiro  
日々の政治活動をタイムリーに語っています。



<http://www.ishidayasuhiro.com>  
ホームページ公開中

市民意見・政治に関するご意見は「石田やすひろ公式ホームページ」から！  
ブログ連日、更新中



# 川崎市のポテンシャルは『環境』 「環境最先端都市・川崎」の実現に向けて

## 街の安全を見守るLED（照明）



市の管理している防犯灯は990灯あります。その全てを平成23年度中にLED化する計画です。その他の町内会・自治会等が設置する防犯灯は7万5000灯あり、LED化に向けて4万円（500灯）を限度に、設置費の補助を行っています。

LED化の効果は、寿命がこれまでの2年から10年位まで延び、交換の回数が減ります。CO2の排出量は、39.9Kgから30.8Kgまで減少し、明るく省エネにも効果的です。電気代においては、2671円から1871円（年間電気料）と800円程度お得となります。

宮前区内にも、写真のようなLEDが164箇所弱、整備されています。LED防犯灯の値段が1基5万円から8万円と少々高めです。将来的には需要を増やすことで、値段が下がっていくことに期待したいです。私は、防犯効果を向上させるためにも、LED化を積極的に推進していきます。

## エネルギーは太陽光から （宮前区役所屋上に設置へ）



自然エネルギーに注目が集まっています。ご家庭の屋根に、そろそろ太陽光設備を、と考えていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。一方、公共施設での取組みはどうなっているのでしょうか。

写真は、一足先に太陽光発電設備を設置した、高津区役所の屋上の様子です。宮前区役所では、この秋にも同様の太陽光発電設備を設置する予定となっています。その効果を探ってみましょう。

川崎市地球温暖化対策推進基本計画には、再生可能エネルギー等の利用として、太陽エネルギー利用量を2020年度までに30倍にする目標を掲げています。目標達成には、民間家屋の設置に向けた推進策と併せ、公共機関における設置も進めていかなくてはなりません。

宮前区役所に太陽光発電を導入する費用対効果はどうでしょう。設置費用は、2776万1000円。うち国庫補助額が400万円となっています。効果は、1年間で1万kWhの発電が見込めます。ちなみに、一世帯当たりの1年間の電気消費量が約3400kWhですから、家庭に置き換えると3世帯分の電気を生み出すこととなります。年間の電気代削減額は、20万円程度です。元をとるには100年以上かかる計算です。

家庭では、余剰電力が発生した場合、電力会社に売電することが可能です。そのために、普及が進んでいます。しかし、区役所に設置した場合は、生み出す電力量が限定的で、施設の使用規模に対して賄うまでには到底及ばず、費用対効果の面からも、積極的にはなれない側面があります。効果は、普及・促進に向けたPRに限定されそうです。

## 宮崎第4公園が改修へ（平成23年度～）



川崎市に対して、宮崎第4公園の改修を要望してきました。予算案を見てみると、ようやく事業に位置づけることができました。平成23年度予算案には、宮前区の区別投資的事業の一覧に、31億5627万4000円が計上されています。そのうち、公園の整備事業「宮崎第4公園バリアフリー対応整備」として、4010万6000円が計上されました。宮崎第4公園の入口の部分から続く歩道を、舗装する計画です。併せて、ベンチの改修も含めて行っていきます。遊歩道は、木の根で凸凹です。雨の後は滑る危険すらあり、歩きづらく感じます。木製のベンチは腐りかけており、座るにはハンカチでも敷かないと、ズボンが汚れてしまいそうです。

担当者、ベンチの傷み具合を説明し改善を求めてきました。行政担当者は、順次改善を図っていくといいます。行政は公園の状況に目を向け、迅速に対応するべきだと考えます。引き続き、誰もが安心して利用することができる「快適な公園」の環境整備を目指して、議論を行って参ります。また、地域の公園情報がありましたら、ご意見をお待ちしています。

## 動き出した神奈川口構想



（仮称）産学公民連携研究センター整備事業の最優秀提案が決定しました。優先交渉権の決定に輝いたのは、左の施設を提案した事業者です。施設が置かれる殿町3丁目地区は、研究開発拠点の整備を促進する、中核施設ゾーンとして期待されている場所です。

提案された施設は、一階に交流施設、二階に健康安全研究センター、三階に環境総合研究所、四階に民間の施設が入居する計画となっています。環境配慮としては、「二重外壁による熱負荷の軽減、太陽光、太陽熱、地中熱の採用」がされています。平成23年4月に事業契約締結が行われ、平成25年1月に開設となります。

神奈川口となる殿町地区は、川崎の「顔」になる地域です。大学や研究機関、企業などが環境をテーマに集積し、環境技術をけん引していくことに価値が発生します。川崎のポテンシャルは、「環境」です。私は、国と川崎市の連携による、環境分野へのインセンティブを与える「総合特区」の活用を推進します。

## コラム＊鷺沼駅北口情報＊



3月29日（火）に鷺沼駅北口改札口がオープンすることが発表されました。これにより、北側の近隣にお住まいの方は、通勤通学などの際、若干の時間短縮となり、便利になります。自動改札機3台、券売機2台、清算機1台が新たに設置されます。

また、現在の正面口（南側広場のバスロータリー）に面した歩道の舗装を、改修します。